

りんせん通信

6
2025

発行：アロマセラピールーム林泉 <http://rinsen-aroma.com>

2025年6月7日発行(通巻第168号)

～香りの植物見学記(21)～

オールドローズの香りを求め、 草ぶえの丘バラ園を訪ねました。



電車とバスを乗り継いで、緑の丘のバラ園へ
草ぶえの丘バラ園は、千葉県佐倉市にある植物園です。京成佐倉駅からバスに乗り、「草ぶえの丘」停留所で降りると、あたりは新緑で青々としています。
入園券を買い奥に進むと、バラのアーチが現れました。花壇はもっと先ですがもう香りが漂ってきます。

見どころは、原種とオールドローズ

写真は、精油でおなじみのダマスクローズとケンティフォリアローズです。香りは甘く濃厚で、現代バラとはだいぶ印象が違います。こちらの園は、原種とオールドローズの収集・保存を目的として運営されています。バラは、原種に近いほどよく香ります。



日本を代表するバラ「ハマナシ」

日本のバラを集めた花壇に、ハマナシが咲いていました。ハマナシは、北海道や東北など、寒い地域に自生する原種のバラです。見た目は素朴な印象ですが、香りには、ダマスクやケンティフォリアのような華やかさがあります。

杏仁豆腐と聞いたけど…

去年の今頃、テレビでこちらの園が中継されたそうです。その時、エアシャー・スプレンドゥスという品種が話題になりました。杏仁豆腐の香りがするというのです。この日、私も嗅いでみましたが、プラスチックのようなにおいを感じました。想像と違いびっくりです。



世界が認めるバラ園です

こちらのバラ園は、世界的な賞をダブルで受賞しています。なるほど、園内は丘の地形が活かされて、都心のバラ園とは比べものにならない解放感です。
春バラは、五月半ばに最盛期を迎え、六月上旬まで鑑賞できます。よかったら訪ねてみてください。

おすすめアロマグッズ No.136



アロマバスエッセンス (ナチュラルアイランド)

ハマナシが香る液状の入浴剤です。溶かすと、白いにごり湯に変わります。ベースはミネラルオイルですが、べたつくことはなく、湯上りはさっぱりしています。

ハマナシは、左の記事でもご紹介した通り、甘く華やかな香りです。お湯に浸かりながら、香りを頭の中で再現してみたところ、本物とよく似ていました。

入浴中は香りをしっかりと感じますが、しつこくはありません。肌に残った香りは、ゆっくりと消えていきます。

編集後記

「草ぶえの丘バラ園」に行く前の日、ネット上で、こちらの園に杏仁豆腐の香りがするバラが植えられているという記事を見つけました。そこで、どんな香りなんだろうと想像を巡らせていたのです。ところが、実際は、メイン記事でご紹介した通り、イメージとは違うものでした。

家に帰り、何気なく香りの本をめくっていると、エアシャー・スプレンドゥスにまつわる文章が見つかりました。そこには、エアシャー・スプレンドゥスはミルラの香りがすると書かれています。自室の精油箱からミルラの精油を取り出し嗅いでみると、確かにプラスチックの雰囲気を感じます。ミルラの精油は樹脂からとるので、合成樹脂であるプラスチックと似た要素があるのでしょう。実物を体験することの大切さを改めて知りました。